

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
1	長瀧 薫	男	68	会社員	障害者施設(定年退職) 有料老人ホームユウユウハウス勤務	(耕作面積) 約1.2ha (作目) 水稻(コシヒカリ、ミルキークイーン) (農業従事日数) 240日 (農業所得額) 約65万円	無	2区	昨年9月より推進委員を委嘱され、少しずつ活動ができるようになり、引き続き精進していきたいと思い、応募いたしました。
2	平山 俊策	男	75	農業	(旧)岡山県職員 (現)農業、農地利用最適化推進委員	(耕作面積) 263a (作目) 水稻、野菜 (農業従事日数) 300日 (農業所得額) 70万円	無	6区	地域の農業環境は高齢化・少子化・人口流出するなかにあつて、農業離れと遊休地が急速に進行している。これらを打開するための一助になることを願っている。
3	中村 真也	男	47	団体職員	保育所勤務 河辺公民館活動推進委員 津山市農地利用最適化推進委員	私は農地を所有して おりませんが、認定 農業者である親族が 行うブドウ栽培(ピ オーネ、シャインマス カット、オーロラブラ ック)の作業の補助を 適宜行っております。 また、以前は水稻栽 培や畑作を行った経 験もあります。	無	4区	農地利用最適化推進委員として活動した経験を、これからの人口減少社会における効率的な農業経営の実現に活かしたいと考えております。また、現在、保育所に勤務していることもあり農業委員会の活動として、保育園の子どもたちが土にふれあったり、農業を通じた食育のような活動を行っていきたくとも考えております。これらのことを実行するために津山市農地利用最適化推進委員に応募しました。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
4	本山 茂利	男	60	農業	昭和59年3月 松山商科大学卒業 昭和59年3月～平成31年3月 津山農業協同組合 平成31年4月～ 農業	(耕作面積) 84a (作目) 水稲、野菜 (農業従事日数) 180日 (農業所得額) 40万円	無	4区	永きにわたり農業関係の仕事に従事してきました。今後は優良農地の確保、農用地の効率的な利用、担い手への農地利用集積、集団化の促進に努めたいと思います。
5	桂木 英一	男	73	農業	(元)会社員 (現)農地利用最適化推進委員	(耕作面積) 6,700㎡ (作目) 水稲 (農業従事日数) 280日 (農業所得額) 48万円	無	8区	担当区域内の農地パトロール、農地の集積、集約化及び耕作放棄地の発生防止、解消に努める。
6	岡 隆彦	男	70	農業	平成15年～令和2年 (有美咲ファーム(養鶏場)勤務 平成21年4月 寺城宮農生産組合設立参加加入 平成26年5月 寺城池水利組合組合長に就任 令和2年4月 寺城中山間地域代表に就任 令和2年4月 寺城多面的活動組織代表に就任 令和3年1月 寺城宮農生産組合二代目組合長に就任	(個人) (耕作面積)水稲70a、畑作10a (作目)きぬむすめ、たまねぎ、にんにく他 (農業従事日数)100日 (農業所得額)120万円 (営農組合) (耕作面積)水稲4ha、麦1.8ha (作目)きぬむすめ、飼料米、せときらら (農業従事日数)120日 (農業所得額)700万円	無	8区	私の地区も農業の高齢化と農業離れに伴い、農業者の減少が続いている中で、平成21年度に将来の農業について、地域で話し合いを行い営農生産組合を立ち上げて活動を始めました。現在、組合員8人と協力者で、農地の草刈り、稲・麦の生産作業一式や作業の請負、また、遊休農地等の管理などをして、次世代へ引き継ぐ為、農地として利用及び管理をしています。現在組合長として、各種の農業活動をやらせていただいています。そして、将来若手農業者、また、農業希望者が、最適に農業に取り組みができるよう、農地利用最適化推進委員の一員として、少しでも地域農業に役立つ事を決意し応募しました。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
7	木下 稔	男	71	農業	津山市農業委員 津山市農地利用最適化推進委員 津山市農業士 JA晴れの国岡山理事	(耕作面積) 約250a (作目) (主)水稲 (農業従事日数) 約250日 (農業所得額) 400万円	無	1区	津山市の農業を取り巻く状況は、基幹的農業従事者の高齢化と担い手不足や耕作放棄地の発生などが顕著となる中で、新規参入の促進を含めた担い手の育成・確保、農地利用集積・集約化が重要な課題となっている。こうした現状の中、農地利用最適化推進委員として、農地利用の最適化活動に取り組んできた。その結果、農地利用の最適化の課題が明確となり、更なる農地利用の最適化活動を推進することが当面の課題である。その課題を解決するために、応募しました。
8	山本 健太郎	男	42	自営業	家庭菜園歴:5年程度	(耕作面積) 100㎡ (作目) トマト・ピーマン・じゃがいも・さつまいも・いちご等 (農業従事日数) 約150日 (農業所得額) 0円(家庭菜園)	無	1区	今後、耕作放棄地が増えることが予想されるため、土地の有効活用方法などを提案して、津山市の事業をサポートしていきたい。また、知人の方で自宅周辺には土地を持っていないが、農業や家庭菜園等に関心を持たれている方もおられるので、情報を収集・発信することで家庭菜園等が出来る土地を増やしていきたい。
9	菅原 正明	男	71	農業	令和元年～令和5年3月31日 勝北地域町内会新野東支部長 令和元年～令和5年3月 多面的機能支払交付金勝北地域広域活動組織久本地区代表	(耕作面積) 59a (作目) 水稲、黒大豆、自家用野菜 (農業従事日数) 155日 (農業所得額) なし	無	7区	農地の有効活用を推進し、農地の荒廃の予防に寄与する。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
10	寺坂 彰友	男	71	農業	津山市役所退職(35年間) 固定資産税の土地評価事務7年間従事。 丸山東常会常会長、久本町内会評議員に2年従事。 営農組合役員を現在務める。 塩手池管理組合理事現職。	(耕作面積) 35a (作目) 水稲、黒大豆、野菜 (農業従事日数) 200日 (農業所得額) 0円 今後耕作を増やしていきたい。	無	7区	農地の耕作状況を改善し、小規模農業従事者の所得が増えるように活動してみたい。
11	松浦 勝巳	男	70	自営業	会社員で親と農業をしていた(稲)。	(耕作面積) 1,230㎡(自作地)、 2,560㎡(貸付地) (作目) 水稲	無	3区	津山市の農業のために貢献したい。農業の後継者の話を聞きたい。
12	別當 憲明	男	74	農業	R4まで 水稲栽培の所有地を含めて3.3ha ミニライスを近隣農家の3ha程 椎茸栽培は菌床シイタケのハウス栽培1,000個 35歳までサラリーマン	(耕作面積) 令和5年から 水稲栽培所有農地のみ70a ミニライス近隣農家2.5ha 椎茸栽培菌床シイタケのハウス栽培1,000個 (農業従事日数) 270日 (農業所得額) 280万円	無	3区	昨年まで近隣農家の休耕田、水田を借り受けて水稲の作付農家として歩んで参りましたが、年齢的な負担を考慮して本年度より水稲の作付の軽減を図りました所、先日推進委員のお声掛けがありました。嘱託職員の職務の内容をお聞きました所、私の現在までの経験等を生かしながら取り組むことが出来る内容と考えまして応募を決めました。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
13	杉浦 武	男	68	農業	(元)農協職員 (現)農地利用最適化推進委員	(耕作面積) 38,628㎡ (作目) 水稲、黒大豆 (農業従事日数) 300日 (農業所得額) 256万円	無	7区	地域の遊休農地の発生防止・解消に努めたい。
14	光成 美文	男	68	無職	農業委員 2015年～2017年 3年間 農地最適化推進委員 2018年～2023年 6年間	(耕作面積) 水稲20a、自家野菜 7a、自己管理農地 10a (農業所得額) 無し	無	8区	農地中間管理機構関連農地整備事業の実施の為、三成地区6.5ha、寺岡地区6.5haの地権者及び認定農業者への調整。令和5年度事業開始～令和10年度完成目標。
15	村井 健二	男	39	農業	鳥取大学農学部卒業 農事組合法人白浜営農組合(愛知) 2012年～津山移住 新規就農 現農地利用最適化推進委員	(耕作面積) 水稲15ha (農業従事日数) 300日 (農業所得額) 300万円	無	8区	地域の土地利用型農業を営むにあたって、農地のあり方に携わる農業委員会に貢献したいため。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
16	厨子 薫	男	67	任期付公務員	パナソニック株式会社草加部工場 在職32年6ヶ月 株式会社川本草加部浄水場 在職1年4ヶ月 日本年金機構津山年金事務所 在職4年3ヶ月 真庭市役所総務部財産活用課 在職中	(耕作面積) 6,500㎡ (作目) 米(コシヒカリ) (農業従事日数) 年間70日 (農業所得額) -200,000円	無	6区	①5期中山間直接支払交付金の世話をしながら他に出来る事はないかと考えた。 ②多面的機能支払交付金制度を令和4年度から取り組み、へき地における農地維持、農業の発展に尽力したい。
17	田邊 晃次	男	34	農業	2018年 津山市に移住 農事組合法人かんばん川にて研修を受ける 2019年 新規就農者として個人事業開業	(耕作面積) 水稲5ha、小麦4ha、黒大豆1ha、その他野菜0.5ha 計10.5ha (農業従事日数) 250日	無	6区	これからの農地を担い手として営農するにあたり、自らの耕作農地だけでなく、周辺地域の農地が適正に利用されている事が重要だと思い、農地利用最適化推進委員に応募しました。
18	赤松 英雄	男	45	農業	元会社員 現農業者(約11年)	(耕作面積) 231a (作目) 果樹(ぶどう、もも、柿)、水稲、野菜 (農業従事日数) 300日 (農業所得額) 約100万円	無	2区	農地を農地として使用できる。最適な農業環境を維持したい。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
19	永禮 淳一	男	50	酪農業	(現)農地利用最適化推進委員	(耕作面積) 20ha (作目) 飼料作物 (農業従事日数) 250日 乳牛50頭の飼育、作業受託	無	1区	農地利用最適化推進委員を経験し、継続したいと考え応募した。
20	高畑 弘之	男	82	農業	岡山県庁退職後は農業をしながら土地改良区の理事長を務めている。	(耕作面積) 7,966㎡ (作目) 水稲 (農業従事日数) 300日 (農業所得額) 無し	無	3区	農地の担い手不足という問題の解決に貢献したいから。また、土地改良区の理事長としての経験を生かせると思ったから。
21	寺谷 政史	男	61	農業	(現)JA晴れの国岡山 総代 (現)認定農業者 (現)農地利用最適化推進委員	(耕作面積) 51,904㎡ (作目) タマネギ苗、柿、芋苗、種芽	無	1区	今までの経験を生かし農業への新規参入を支援したい。

津山市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終)

【応募の状況】

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等の有無	区域	応募理由
22	森元 義明	男	50	会社員	平成21年～令和3年 津山管内のJAにて営農指導業務を行う。 令和4年～ 農業事業会社に勤務している。	(会社事業として) (耕作面積) 14ha (作目) 水稲、小麦、野菜 (農業従事日数) 250日	無	6区	募集地域においては、近年、農業者及び農地の減少が著しく目立つように思われます。農業の衰退は地域の衰退に繋がると考え、前職でのJA営農指導等の経験を活かし、募集地区において耕作放棄地の減少に努め、農地利用の促進をとの考えのもと、今回応募致しました。
23	大畑 和久	男	49	農業	平成27年9月より果樹(ぶどう)の栽培を行っている。 令和2年より農地利用最適化推進委員として活動。	(耕作面積) 140a (作目) 果樹(ぶどう)、水稲 (農業従事日数) 300日 (農業所得額) 600万円	無	5区	前任の農地利用最適化推進委員からの依頼により引き受けた訳ですが、地域の農地保全に貢献したいと考え、引き続き農地利用最適化推進委員に応募することとしました。
24	井上 定夫	男	65	農業	JR退職後、平成27年から農業をしている。	(耕作面積) 15ha (作目) 水稲、麦	無	5区	地域農業発展に協力したい。